

横浜市脱炭素社会の形成の推進に関する条例に基づく令和6年度の実施状況について

概要

横浜市脱炭素社会の形成の推進に関する条例に基づき、
下水道河川局の2024（令和6）年度施策の実施状況等について報告します。

下水道河川局に関連する取組は「横浜市地球温暖化対策実行計画」に
位置付けられた基本方針のうち、基本方針5から7となっています。

基本方針1

環境と経済の好循環の創出

基本方針2

脱炭素化と一体となったまちづくりの推進

基本方針3

徹底した省エネの推進・再エネの普及・拡大

基本方針4

市民・事業者の行動変容の促進

基本方針5

世界共通の課題である脱炭素化への貢献

基本方針6

市役所の率先行動

基本方針7

気候変動の影響への適応

- 1 指標の進捗状況（基本方針6）
- 2 2024(令和6)年度の主な取組
(基本方針5、基本方針7)

1-(1) 指標の進捗状況<下水道事業>

- ・2023(令和5)年度の温室効果ガス排出量は、2013年度比38.4%減の11.1万トン
- ・2024(令和6)年度のエネルギー消費量は、2013年度比2.1%減の1,922TJ

<温室効果ガス排出量及びエネルギー消費量の状況>

上段：実績、下段：削減率（基準年度比）

主な指標	基準値 (2013年度)	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
温室効果ガス排出量[万t-CO ₂]	18.1	13.7	13.8	11.1 (▲38.4%)	—
エネルギー消費量[TJ]	1,962	2,095	2,016	1,898 (▲2.1%)	1,922

1-(1) 指標の進捗状況<下水道事業>

- ・2024(令和6)年度は、水再生センター等でLED等高効率照明を導入し、LED化率は57%
- ・金沢水再生センターなど4施設に太陽光発電設備を導入
- ・一般公用車25台のうち、2024（令和6）年度の次世代自動車等の導入割合は92%

<対策の取組状況>

主な指標	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
LED等高効率照明の導入	33%	48%	51%	57%
太陽光発電設備の導入	3施設	3施設	3施設	4施設
一般公用車における次世代自動車等導入	74%	83%	87%	92%

※2024年度の次世代自動車等の台数 23台 (EV:11台、PHV:2台、FCV:0台、HV:10台)

1-(2) 指標の進捗状況<庁舎等>

- ・指標の進捗状況<庁舎等>は下水道河川局では河川施設が対象
- ・2023(令和5)年度の温室効果ガス排出量は、2013年度比28.3%減の0.012万トン
- ・2024(令和6)年度のエネルギー消費量は、2013年度比6.8%減の2.7TJ

<温室効果ガス排出量及びエネルギー消費量の状況>

上段：実績、下段：削減率（基準年度比）

主な指標	基準値 (2013年度)	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
温室効果ガス排出量[万t-CO ₂]	0.017	0.017	0.014	0.012 (▲28.3%)	—
エネルギー消費量[TJ]	2.9	3.4	2.9	2.3	2.7 (▲6.8%)

1-(2) 指標の進捗状況<庁舎等>

- ・2024(令和6)年度の河川施設のLED化率は1%

<対策の取組状況>

主な指標	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
LED等高効率照明の導入	1%	1%	1%	1%
太陽光発電設備の導入	—	—	—	—
一般公用車における次世代自動車等導入	—	—	—	—

1-(3) 職員の取組

- ・会議等でプロジェクトやディスプレイを活用するなど、ペーパーレス化を推進
- ・「横浜市グリーン購入の推進に関する基本方針」に基づき、環境に配慮した物品、役務の調達を実施
- ・横浜市役所環境行動方針に基づく職場研修を通じて、環境に関する取組への理解を促進



会議でのペーパーレス化

目次

- 1 指標の進捗状況（基本方針6）
- 2 2024(令和6)年度の主な取組
(基本方針5、基本方針7)

2-(1) 2024(令和6)年度の主な取組

1 海外諸都市への技術協力・海外インフラビジネスの推進

- ベトナム国ハノイ市での下水道事業のフォローアップや、フィリピン国セブ都市圏での水環境改善に向けた技術協力を実施しました。引き続き技術協力を通じてアジアの水環境改善と脱炭素化に貢献していきます。



セブ都市圏下水道MP
コミットメントウォールへの署名



ベトナム国建設省との協議

2-(2) 2024(令和6)年度の主な取組

2 風水害・土砂災害等分野の適応策の推進

- 時間降雨量約 50mm 対応の護岸改修等を推進するとともに、河川施設等の老朽化対策の推進を図るため、長寿命化計画や保全計画に基づく対策を実施しました。引き続き、河川流域での対策を進めます。
- 雨水幹線や雨水調整池等の施設整備による浸水対策を着実に推進したほか、グリーンインフラの活用として、公共施設の再整備等において保水・浸透機能を有する施設を11箇所で導入しました。引き続き取組を推進し、浸水対策の強化を図ります。



今井川の河川護岸改修（保土ヶ谷区）



こども自然公園のグリーンインフラ（旭区）

2-(2) 2024(令和6)年度の主な取組



4 産業・経済活動分野の適応策の推進

- <再掲> 時間降雨量約 50mm 対応の護岸改修等を推進するとともに、河川施設等の老朽化対策の推進を図るため、長寿命化計画や保全計画に基づく対策を実施しました。引き続き、河川流域での対策を進めます。
- <再掲> 雨水幹線や雨水調整池等の施設整備による浸水対策を着実に推進したほか、グリーンインフラの活用として、公共施設の再整備等において保水・浸透機能を有する施設を11箇所で導入しました。引き続き取組を推進し、浸水対策の強化を図ります。